

西宮市の決算の概要
～令和3年度版～

令和4年8月

西宮市 財務局 財務総括室 財政課

目次

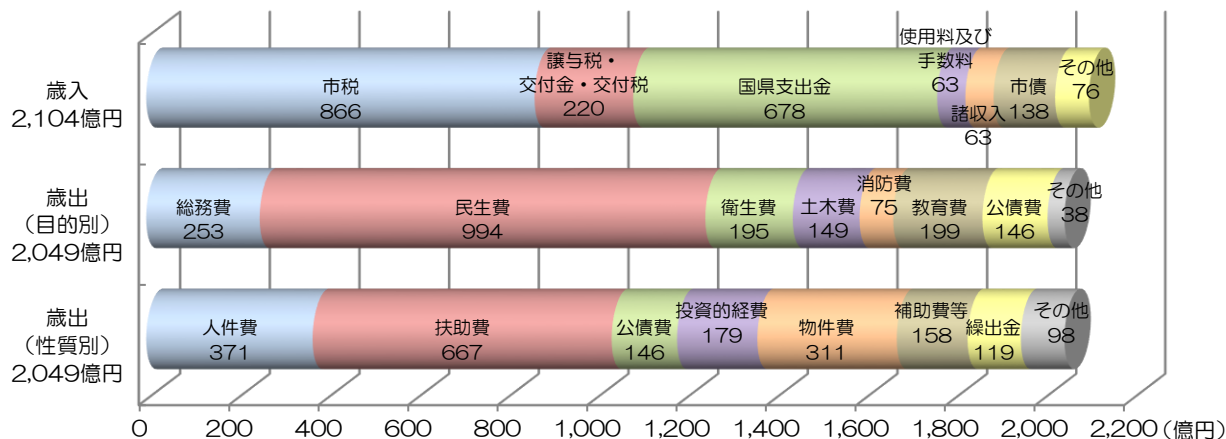
1.	決算の概要	1
2.	歳入の状況	2
3.	市税の状況	3
4.	歳出の状況	
	(1) 目的別	4
	(2) 性質別	5
5.	特別会計の決算状況	6
6.	西宮市の貯金（基金）	6
7.	西宮市の借金（市債）	
	(1) 市債の元金返済額と借入額の推移	7
	(2) 市債現在高の推移	7
8.	投資的事業の状況	8
9.	目的税等の用途	
	(1) 目的税	9
	(2) 森林環境譲与税交付金の用途	11
	(3) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分	12
10.	主な財政指標	
	(1) 経常収支比率	13
	(2) 財政力指数	14
11.	市民一人あたりの決算額	
	(1) 歳入	15
	(2) 歳出	15
	(3) 市債残高および基金残高	15

1. 決算の概要

Point!

R3年度は、R2年度に国が講じた特別定額給付金事業の終了により、昨年度に比べ決算規模が小さくなっています。
 収支の結果としては、歳入から歳出を差し引いた金額が54億7千万円で、そこから翌年度に繰り越した事業の財源（2億8千万円）を引いた51億9千万円が実質的な剰余金となります。

令和3年度一般会計決算状況



令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策について、引き続き適切かつ迅速に対応するとともに、公共施設の老朽化対策や保育所等の待機児童対策など喫緊の課題に取り組みました。

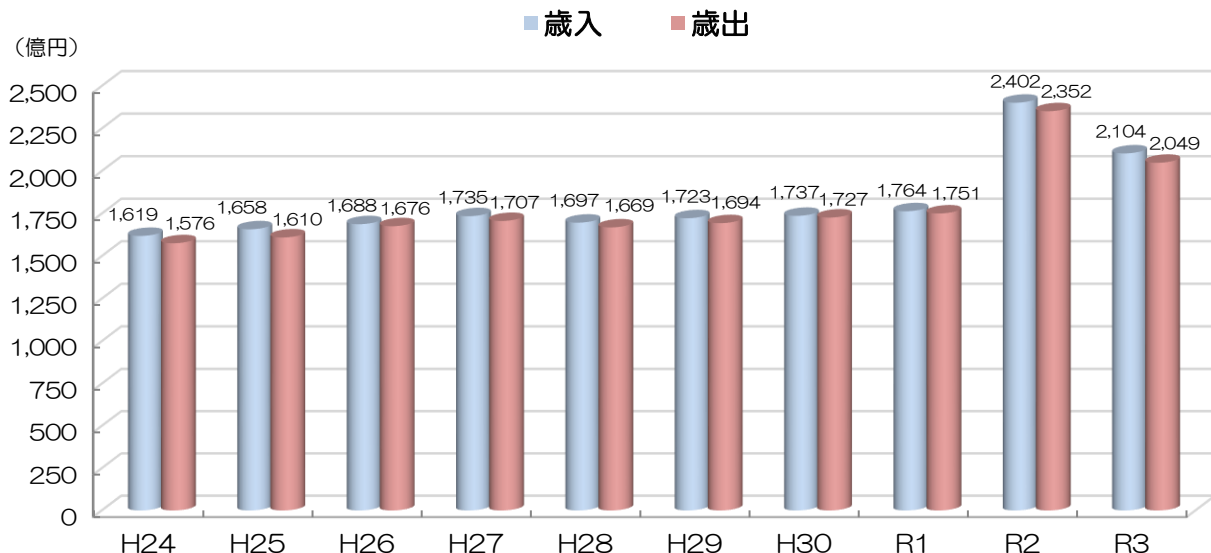
一般会計の決算額については、令和2年度に国が講じた特別定額給付金事業が終了したことにより、歳入・歳出ともに前年度決算額を下回っています。

歳入では、根幹となる市税収入が、給与所得や営業所得の減による個人市民税の減収などにより、総額では前年度に比べ減となりました。また、特別定額給付金事業の終了などにより国庫支出金が大幅に減となっています。

歳出では、子育て世帯への臨時特別給付金事業の実施などにより民生費が増となりましたが、特別定額給付金事業の終了により総務費が減となったため、前年度に比べ減額となっています。

なお、当年度は、市の貯金である財政基金を取り崩すことなく実質収支の黒字を確保しています。実質収支の1/2（26億円）は再度財政基金に積み立て、残りの1/2は令和4年度の財源として活用します。

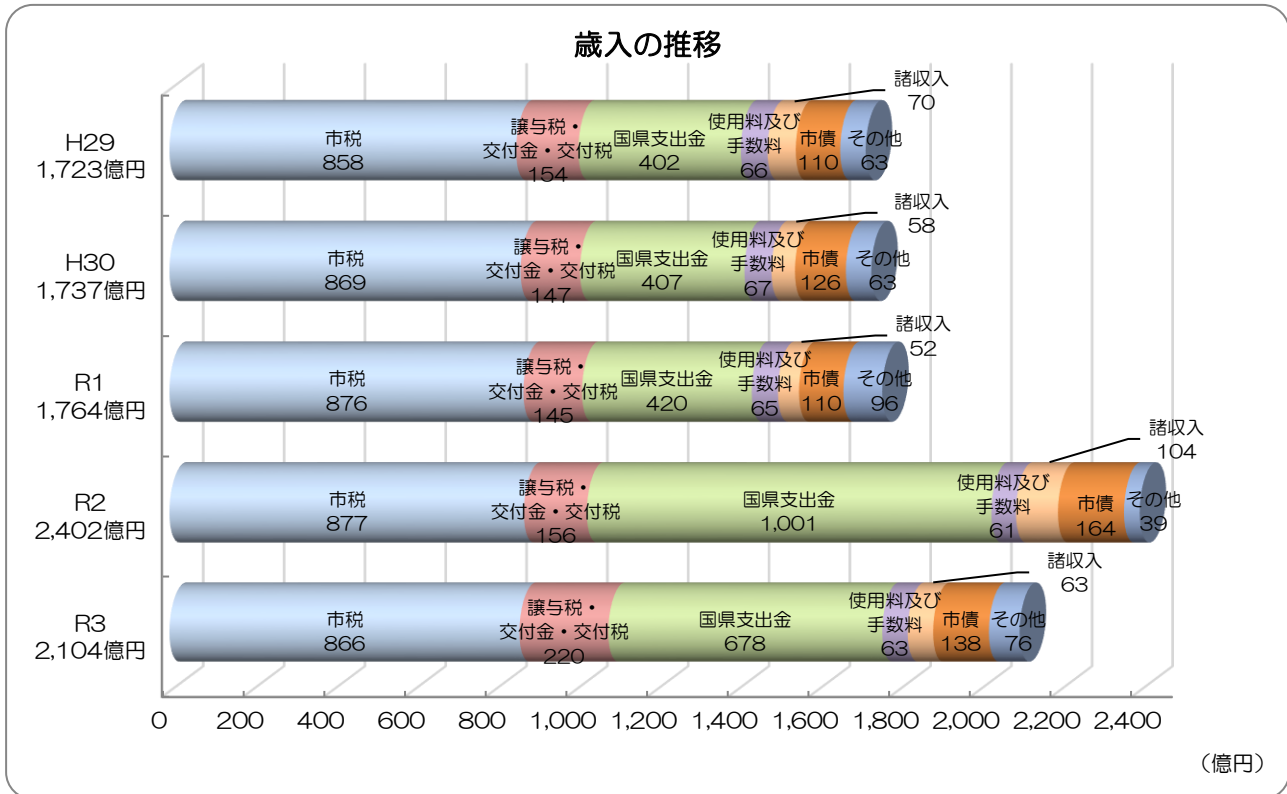
過去10年間の一般会計における歳入歳出決算額の推移は以下のとおりです。



2. 歳入の状況

Point!

国庫支出金が、特別定額給付金事業の終了により大幅な減となっています。また、アサヒビール西宮工場跡地購入にかかる土地開発公社貸付金の返還の皆減により、諸収入が減となりました。



＜市 税＞ 給与所得や営業所得の減による個人市民税の減収などにより、前年度に比べ10億7千万円の減額となりました。

＜譲与税・交付金・交付税＞ 普通交付税において基準財政需要額に臨時費目が追加された影響などによる地方交付税の増や、消費税収の増に伴う地方消費税交付金の増などにより、総額では前年度に比べ63億2千万円の増額となっています。

＜国県支出金＞ 前年度に国が講じた特別定額給付金事業の終了などにより、前年度に比べ321億9千万円の減額となりました。

＜諸収入＞ アサヒビール西宮工場跡地購入にかかる貸付金の返還による土地開発公社貸付元金収入が皆減となったことにより、前年度に比べ41億5千万円の減額となりました。

＜その他＞ 前年度からの繰越金の増などにより、前年度に比べ37億5千万円の増額となりました。

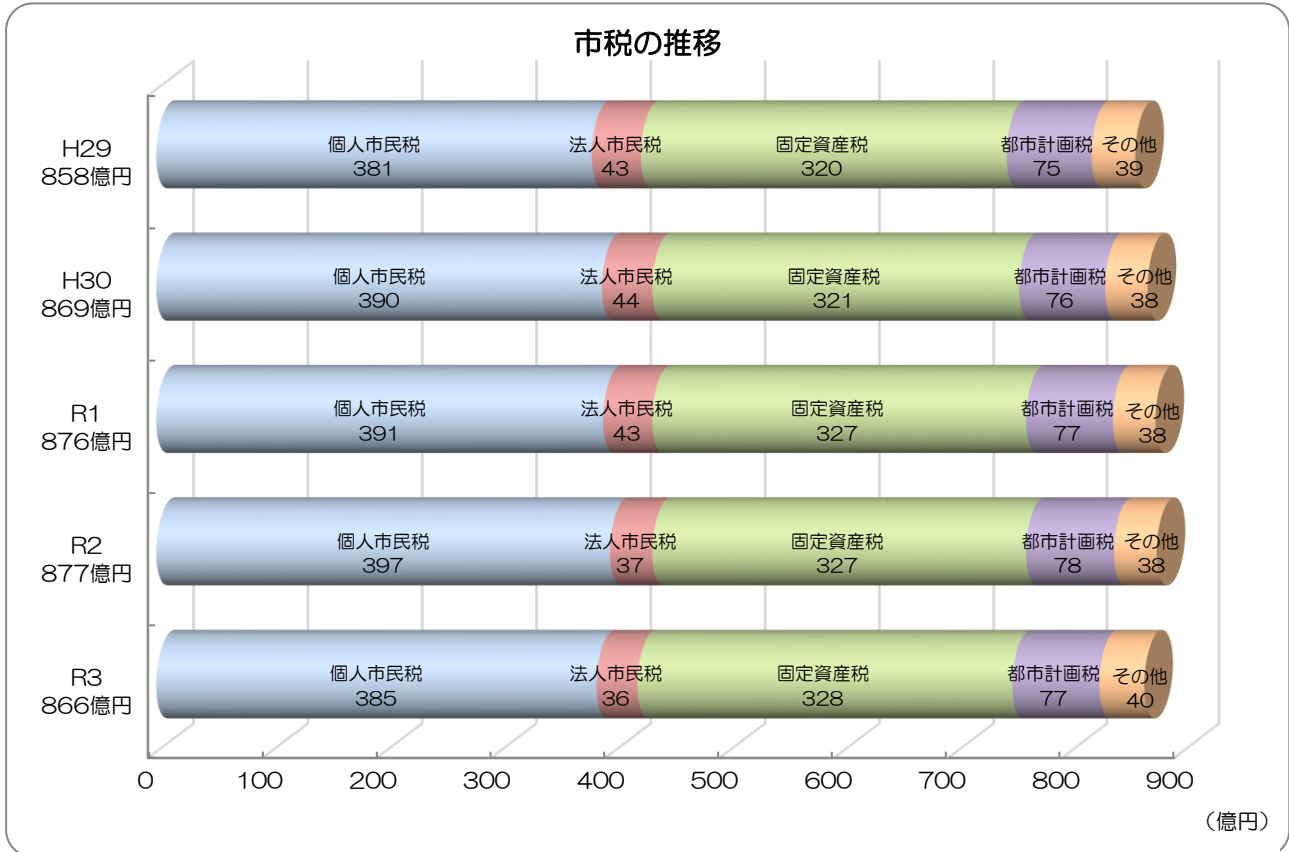
～用語解説～

譲与税・交付金・交付税・・・国税（自動車重量税など）や県税（地方消費税など）として収入されたもののうち、市に一定割合が配分される収入や地方交付税などのことです。

3. 市税の状況

Point!

市たばこ税は税率の引上げにより増となりましたが、個人市民税は大幅に減となったため、市税全体では減となりました。



※その他は市たばこ税・事業所税・軽自動車税・入湯税・特別土地保有税

<個人市民税>

主に給与所得や営業所得等の減により、前年度に比べ1億2千万円の減額となりました。

<法人市民税>

主に運輸・通信業の収益が減となったことなどから、前年度に比べ1億1千万円の減額となりました。

<固定資産税及び都市計画税>

新型コロナウイルス感染症に係る特例措置の適用により、都市計画税は前年度に比べ1千万円の減額となりましたが、固定資産税は、償却資産における設備投資の増などにより、前年度に比べ9千万円の増額となっています。

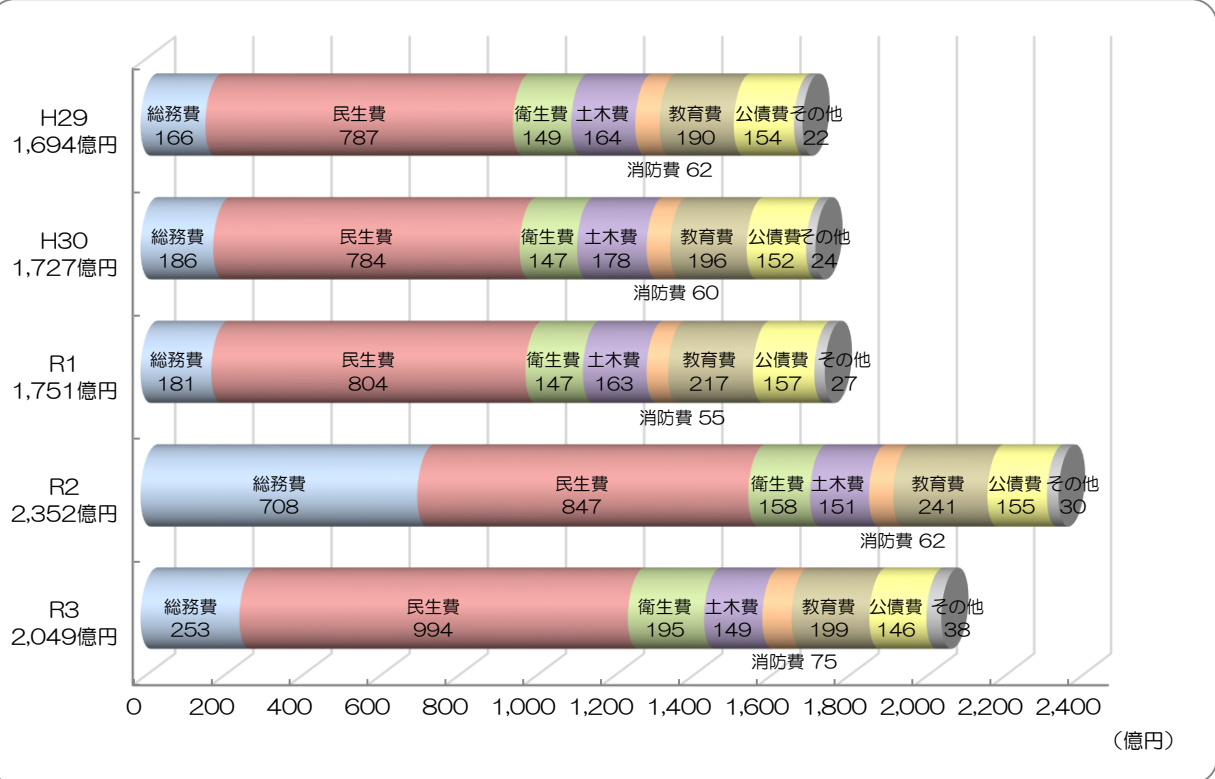
<その他> 市たばこ税については、売渡本数が減となったものの、税率の引上げにより、前年度に比べ1億3千万円の増額となりました。

4. 歳出の状況

(1) 目的別

Point!

歳出の状況を目的別に見てみると、社会保障関係経費の増大により民生費が年々増加傾向にあり、R3年度は子育て世帯への臨時特別給付金事業や非課税世帯等臨時特別給付金事業の実施などにより大幅に増となっています。また、R2年度に実施した特別定額給付金事業の終了により、総務費が大幅に減となっています。



<総務費> 財政基金積立金や都市計画事業基金積立金の増のほか、機構改革に伴い公民館、図書館等に係る事業費が教育費から総務費へ変更となったことによる増がありました。特別定額給付金事業が終了したことにより、前年度に比べ455億3千万円の減額となっています。

<民生費> 子育て世帯への臨時特別給付金事業や非課税世帯等臨時特別給付金事業の実施などにより、前年度に比べ147億5千万円の増額となっています。

<衛生費> 病院事業会計への補助金が減となりましたが、新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施による予防接種事業経費の増などにより、前年度に比べ36億9千万円の増額となっています。

<土木費> 市営住宅等整備事業費が増となりましたが、武庫川広田線整備事業費、西宮浜総合公園整備事業費の減や、下水道事業会計への補助金の減などにより、前年度に比べ2億円の減額となっています。

<消防費> 西宮消防署の建替えによる消防庁舎等整備事業費の増により、前年度に比べ12億9千万円の増額となっています。

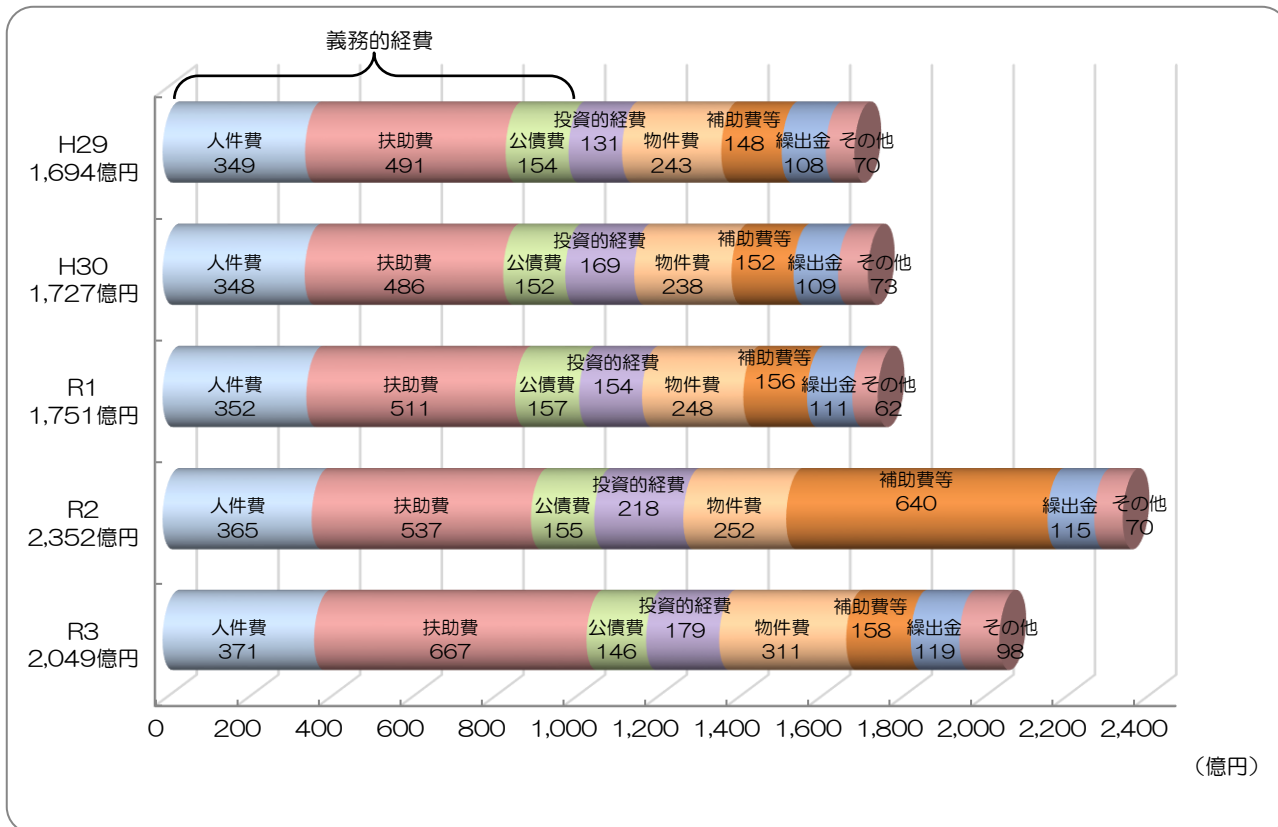
<教育費> 春風小学校の改築工事の進捗による学校整備費の減や、機構改革に伴い公民館、図書館等に係る事業費が教育費から総務費へ変更となったことなどにより、前年度に比べ41億4千万円の減額となっています。

<公債費> 借換対象額や土木債の償還額の減による長期債元金償還金の減により、前年度に比べ9億円の減額となっています。

(2) 性質別

Point!

歳出の状況を性質別に見てみると、義務的経費の中では、扶助費が子育て世帯への臨時特別給付金事業や非課税世帯等臨時特別給付金事業の実施により増となっています。また、特別定額給付金事業の終了により、補助費等が大幅に減となっています。



＜人件費＞ 共済費の引上げや、新型コロナウイルス感染症対策に伴う超過勤務手当の増などにより、前年度に比べ5億8千万円の増額となっています。

＜扶助費＞ 子育て世帯への臨時特別給付金事業や非課税世帯等臨時特別給付金事業の実施により、前年度に比べ130億3千万円の増額となっています。

＜公債費＞ 借換対象額や土木債の償還額の減による長期債元金償還金の減により、前年度に比べ9億円の減額となっています。

＜投資的経費＞
消防庁舎等整備事業が増となりましたが、第二庁舎等整備事業や春風小学校教育環境整備事業の減により、全体で39億2千万円の減額となっています。

＜物件費＞ 新型コロナワクチン接種事業の本格実施に伴う予防接種事業経費の増により、前年度に比べ59億円の増額となっています。

＜補助費等＞
特別定額給付金事業の終了により、前年度に比べ481億8千万円の減額となっています。

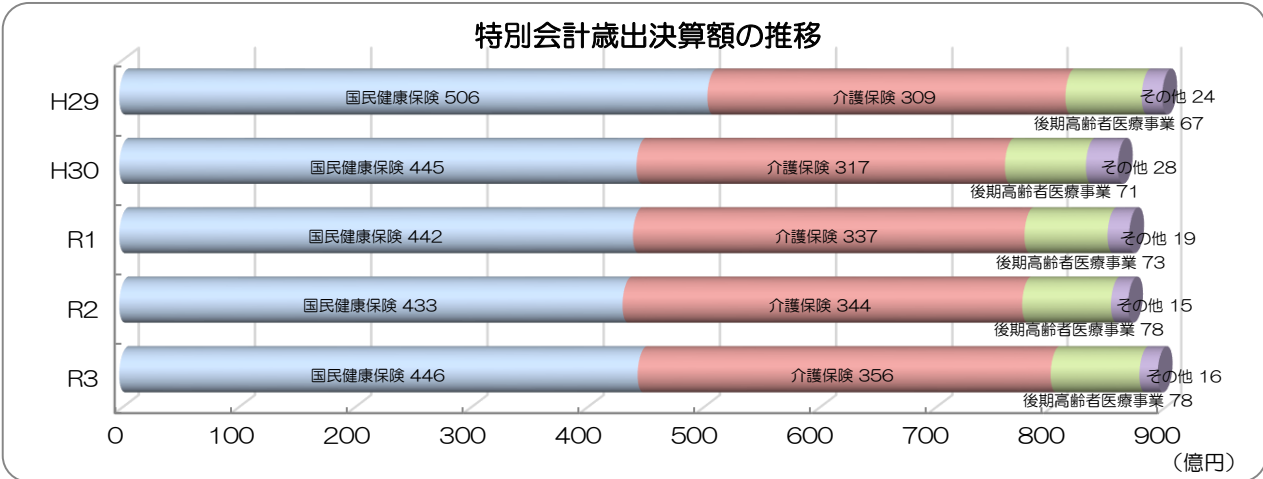
～用語解説～

義務的経費・・・人件費、扶助費、公債費からなるもので、毎年度の支出が義務付けられており、容易に減らすことができない経費のことです。

※なお、義務的経費の割合が大きくなると、新しいサービスや公共施設の建設などが難しくなります。

5. 特別会計の決算状況

国民健康保険特別会計は、新型コロナウイルス感染症の影響で前年度に減少した受診者数が回復したことに伴う保険給付費の増などにより、前年度に比べ12億5千万円（2.9%）の増となり、介護保険特別会計は、介護サービス利用者数の増加に伴う保険給付費の増などにより、前年度に比べ12億円（3.5%）の増となりました。また、後期高齢者医療事業特別会計は、被保険者数の増加などにより前年度に比べ3千万円（0.3%）の増となりました。なお、特別会計全体では26億4千万円（3.0%）の増となっています。

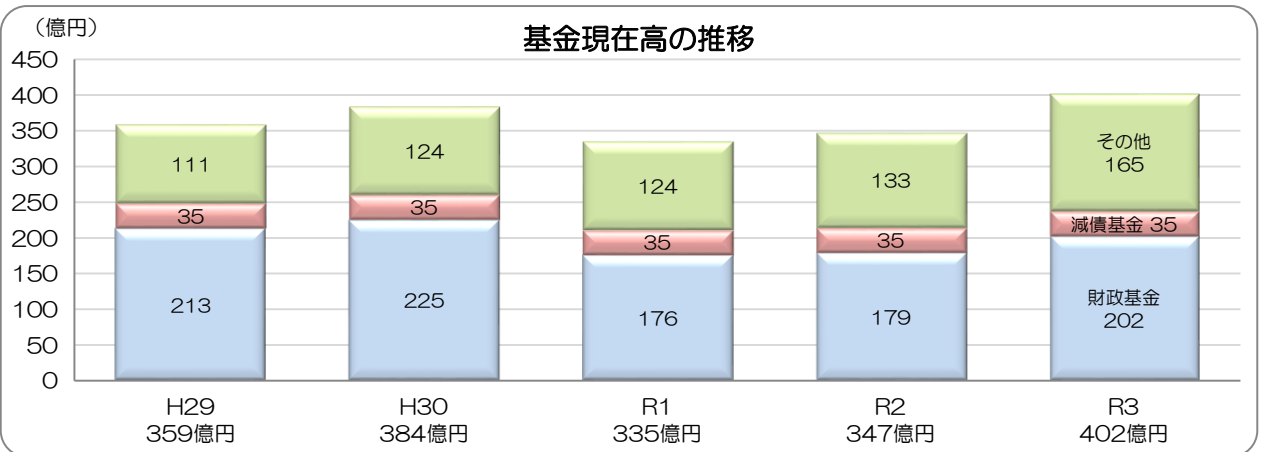


～用語解説～

特別会計・・・特定の目的のための会計で保険料など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。西宮市には9の特別会計があります。（R3末時点）

6. 西宮市の貯金（基金）

「基金」とは市の貯金のことです。R3年度末の基金現在高は402億円で、前年度に比べ55億円の増となっています。これは、決算上生じた剰余金等から財政基金に23億7千万円、令和2年度の都市計画税の歳入額と充当額の差額を都市計画事業基金に22億5千万円を積み立てたことなどによるものです。



※一般会計、特別会計の基金合計額。

～用語解説～

財政基金・・・災害復旧など、財源不足が生じたときに取り崩すことを目的として設置している基金です。

減債基金・・・市債の償還（返済）等に必要な財源を確保するために設置している基金です。

7. 西宮市の借金（市債）

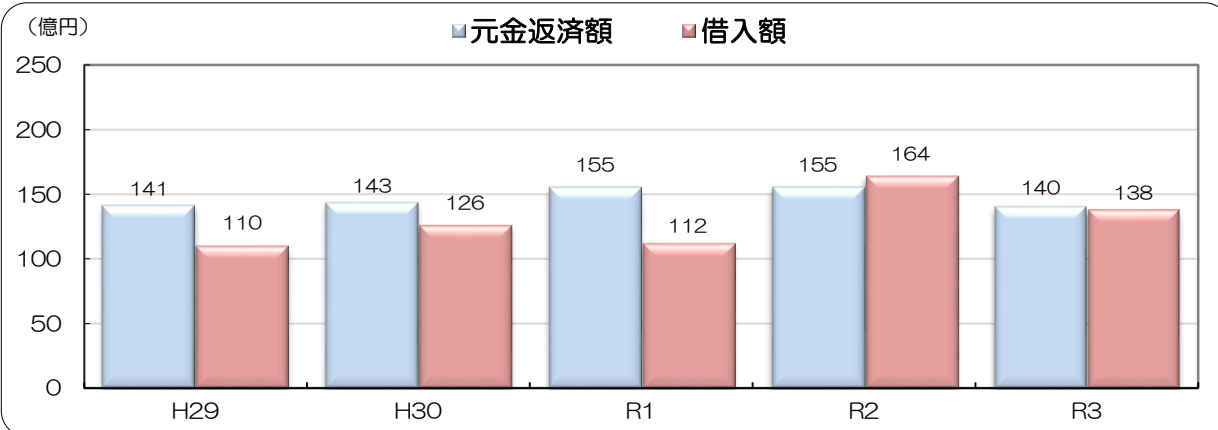
Point!

借入金の元金返済以上に借金をしないことで市債残高を減らし、財政健全化を図っています。R3年度は投資的事業の減に伴い、借入額より元金返済額が上回ることで、前年度に比べ市債残高が減となりました。

学校や道路などの公共施設の整備などで金融機関などから長期的に借り入れる市の借金のことを市債といいます。

公共施設を整備するには一時的に多額の費用が必要になります。建設した年度だけでなく、その後長期間にわたりその施設を利用することから、市債を活用して建設費を複数年かけて返済していくことで、現在の市民と将来の市民の「世代間負担の公平」を図っています。

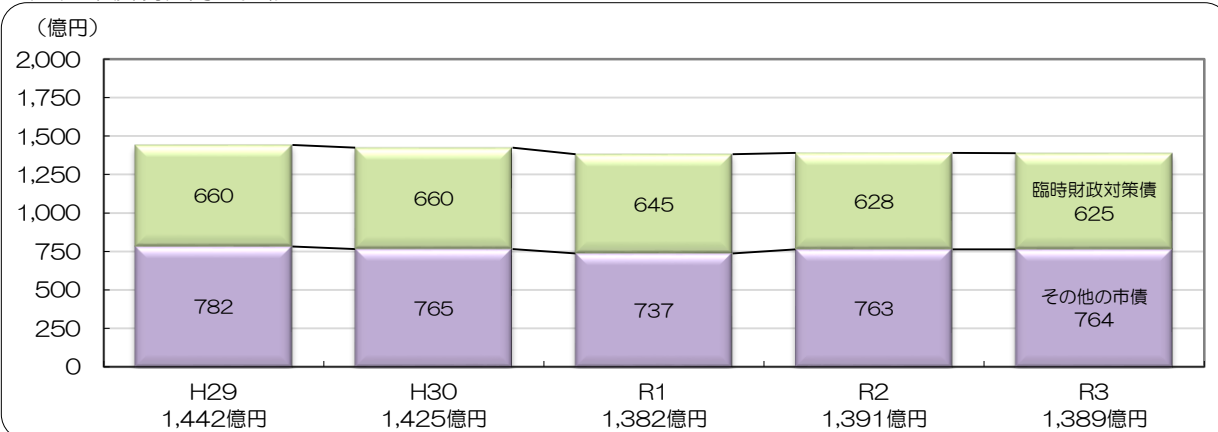
(1) 市債の元金返済額と借入額の推移



※一般会計、特別会計の合計額で、元金返済額には災害援護資金貸付金償還免除額を含む。

R3年度の元金返済額は139億9千万円で、前年度に比べ15億6千万円の減となっています。臨時財政対策債の返済額は増となりましたが、震災復興事業のために借り入れた借金のうち、一部の返済が前年度で終了したことによる減などにより、全体では減となりました。

(2) 市債現在高の推移



※一般会計、特別会計の合計額。

R3年度末での市債現在高は1,389億2千万円となっています。前年度末に比べ主に西宮消防署の建替工事の進捗により消防債が11億円、西宮支援学校や春風小学校、安井小学校の改築工事の進捗により教育債が10億9千万円の増となりましたが、震災復興に伴う災害公営住宅等建設に係る市債などの返済が進み、全体では1億6千万円の減となりました。

～用語解説～

臨時財政対策債・・・国から地方公共団体に交付する地方交付税の原資が足りないために、不足分の一部をいったん地方公共団体が借金をして賄う地方債のことです。H13年度から導入され、他の地方債と違い、建物の建設などに限らず自由に使うことができ、その返済額が翌年度以降の地方交付税で賄われることとなっています。

8. 投資的事業の状況

投資的事業とは、道路・公園・学校・公営住宅の建設など社会資本の整備や、災害によって被害を受けた施設等を復旧するための事業です。

事業費は一般会計、特別会計あわせて約180億円で、前年度に比べ39億円の減額となっています。

投資的事業の事業費と財源内訳

(単位：千円)

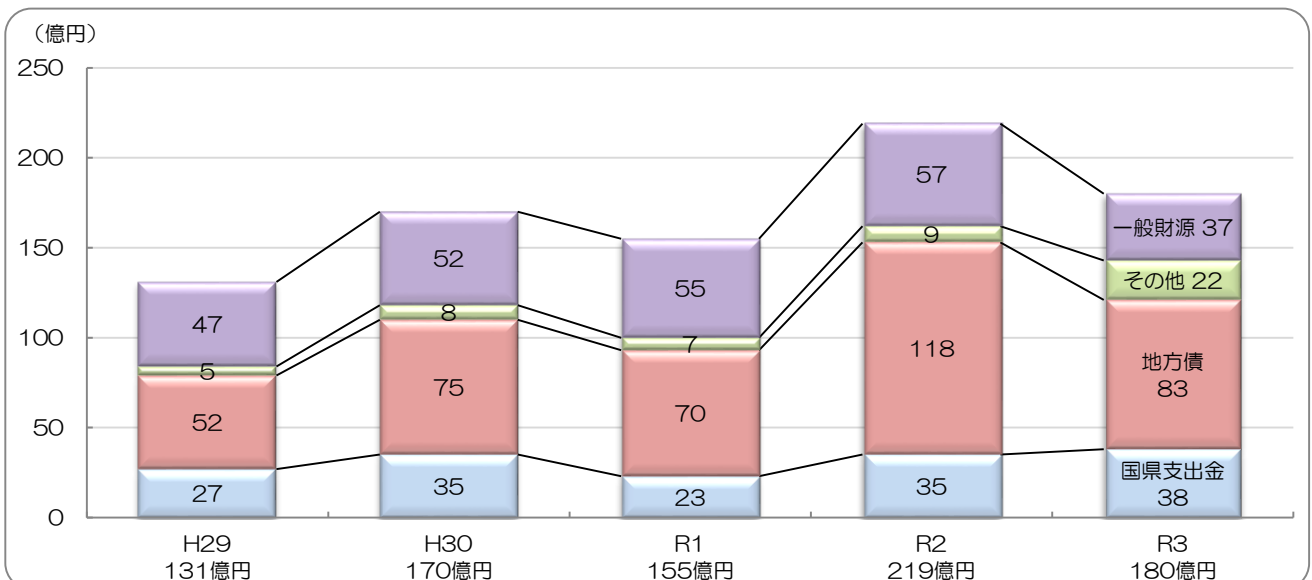
区 分	事 業 費	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
一 般 会 計	17,925,679	3,803,103	8,291,100	2,234,067	3,597,409
特 別 会 計	46,450	0	42,300	4,100	50
合 計	17,972,129	3,803,103	8,333,400	2,238,167	3,597,459

主な投資的事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
西宮消防署建替事業	1,855,805	築56年を経過した西宮消防署庁舎は、老朽化及び狭あい化に加え、耐震性の課題もあったことから、これらの課題を解決するとともに、大規模災害時の消防活動拠点として一層の機能強化を図り、本市の基幹消防署としてふさわしい庁舎に建て替えるための工事を行い、消防庁舎棟は、令和4年2月に運用を開始しました。引き続き、車庫・訓練棟の建設工事などを進め、全ての工事が完了するのは、令和4年11月末の予定です。
学校施設整備事業	1,734,913	小学校施設では、甲東小学校及び生瀬小学校で大規模改修工事、高木小学校で長寿命化改修工事、小松小学校で屋上防水工事と屋外階段設置工事、その他各種改修工事を行いました。中学校施設では、5校で外壁改修工事、6校でトイレ改修工事、甲武中学校で職員室改修工事及び個別空調化工事、その他各種改修工事を行いました。高等学校施設では、西宮東高等学校で職員室改修工事を行いました。幼稚園施設では、門戸幼稚園及び南甲子園幼稚園でブロック塀改修工事、3園で電子錠設置工事を行いました。
西宮養護学校校舎等改築事業	1,586,308	西宮養護学校では老朽校舎の解消と児童・生徒の状況に適した教育環境を整備するため、校舎改築工事等を行いました。令和3年8月に新校舎の引渡しを受け、9月より西宮支援学校に校名変更し、供用を開始しました。
学校教育環境整備事業	1,510,873	香櫨園小学校では運動場改修工事等を行い、春風小学校では旧校舎解体工事を行い、運動場改修工事に着手しました。また、安井小学校では校舎改築工事に着手し、瓦木中学校では先行外構改修工事、空調設備改修工事、アスベスト撤去工事等を行いました。

H29年度からR3年度の総事業費及び財源の推移は以下のとおりです。なお、R2年度は、第二庁舎（危機管理センター）新築工事の本格着工や、春風小学校などの改築工事により増額となりました。R3年度は、これらの工事が進捗したことにより、R2年度と比べて減額となりました。



9. 目的税等の使途

(1) 目的税

租税の中で、一定の政策目的を達成するために使途を限定して課税されるものを目的税といいます。西宮市では、都市計画税、入湯税、事業所税の3つの目的税があります。

【都市計画税】

歳入決算額 7,795,906千円（新型コロナウイルス感染症対策都市計画税減収補填特別交付金（58,646千円）を含む）

都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり街路事業（都市計画法に基づいた道路を整備する事業）や下水道事業、関連する公債費（借金の返済）などに充てています。

歳入決算額と都市計画税充当額との差額は、都市計画事業基金に積み立てた上で、今後予定される都市計画事業に充当します。

※新型コロナウイルス感染症対策都市計画税減収補填特別交付金は、令和3年度の中小事業者等に対する都市計画税の軽減措置による地方自治体の減収に対して国から交付金をうけたものです。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					うち 都市計画税 充当額
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
土木費							
都市計画総務費	301,671	0	0	0	301,671	301,671	
街路事業費	632,438	276,255	243,800	35,829	76,554	76,554	
公園総務費	42,131	0	0	0	42,131	42,131	
公園整備費	280,322	81,600	52,700	5,000	141,022	141,022	
下水道事業費	2,716,073	0	0	0	2,716,073	2,716,073	
公債費							
元金	1,167,782	0	0	0	1,167,782	1,167,782	
利子	70,622	0	0	0	70,622	70,622	
合計	5,211,039	357,855	296,500	40,829	4,515,855	4,515,855	

【入湯税】

歳入決算額 8,599千円

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備、観光の振興に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり消防施設の整備、観光の振興に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					うち 入湯税 充当額
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
衛生費							
清掃工場費	220,550	0	0	0	220,550	2,128	
商工費							
観光費	39,570	3,000	0	0	36,570	353	
消防費							
消防施設整備費	2,172,255	0	1,535,600	2,535	634,120	6,118	
合計	2,432,375	3,000	1,535,600	2,535	891,240	8,599	

【事業所税】

歳入決算額 1,391,160千円

事業所税は、人口、企業が都市部に集中することによって発生する交通問題やごみ処理問題などの解決を図るなど、都市環境の整備に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり教育文化施設、社会福祉施設などの整備に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 事業所税 充当額	
総務費	広報広聴費	207	0	200	0	7	4
	生涯学習費	249,928	0	157,400	17,158	75,370	41,373
	読書振興費	186,140	0	7,600	0	178,540	98,006
	市民文化費	2,119	0	1,700	0	419	230
	市民文化施設費	133,119	1,916	14,100	6,232	110,871	60,860
	スポーツ推進費	75,683	0	47,400	12,693	15,590	8,558
民生費	老人福祉施設整備費	454,346	220,007	178,000	34,170	22,169	12,169
	児童福祉施設整備費	2,509,117	1,436,753	770,500	35,051	266,813	146,462
	障害福祉施設整備費	32,517	0	20,700	0	11,817	6,487
衛生費	保健衛生施設整備費	174,183	0	62,100	18,819	93,264	51,196
教育費	学校整備費	5,017,994	811,971	2,547,600	104,680	1,553,743	852,898
	幼稚園整備費	22,074	0	4,600	0	17,474	9,592
	青少年教育施設費	15,485	0	0	0	15,485	8,500
	給食費	92,028	15,039	29,500	1,459	46,030	25,267
小計		8,964,940	2,485,686	3,841,400	230,262	2,407,592	1,321,602
徴税費		69,558	0	0	0	69,558	69,558
合計		9,034,498	2,485,686	3,841,400	230,262	2,477,150	1,391,160

(2) 森林環境譲与税交付金の使途

令和元年度より創設された森林環境譲与税交付金は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てることとされています。

令和3年度は、前年度に積立てた森林環境譲与税基金を活用して、市内全域の森林現況調査及び住宅等隣接地周辺の危険木調査を実施しました。また、令和3年度に収入した森林環境譲与税交付金については、次年度以降に実施予定の森林整備等に充てるため、森林環境譲与税基金へ積立てを行いました。

森林環境譲与税交付金 歳入決算額 40,065千円

(単位：千円)

事業区分	事業名	決算額	財源内訳					うち 森林環境譲 与税交付金 充当額
			国県支出金	地方債	森林環境譲与 税基金繰入金	その他	一般財源	
公有林整備 (財産区有林 含む)	森林調査事業 経費	6,971	0	0	6,971	0	0	0
公有林整備 (財産区有林 含む)	生物多様性推 進事業経費	8,319	0	0	8,319	0	0	0
基金積立(森 林整備等)	森林環境譲与 税基金積立金	40,066	0	0	0	1	40,065	40,065
合 計		55,356	0	0	15,290	1	40,065	40,065

(3) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分

H26年4月から引き上げられた地方消費税の増収分は、社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）その他社会保障施策に要する経費に充当することとされています。

地方消費税交付金 歳入決算額 10,326,515千円
 （うち消費税率の引上げによる増収分（社会保障財源化分） 5,981,199千円）

社会保障施策とは

- ①社会福祉・・・生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉など
- ②社会保険・・・国民健康保険、介護保険、年金など
- ③保健衛生・・・医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策などのことをいいます。

西宮市では以下のとおり充当しています。

(単位：千円)

区分	予算科目	決算額	財源内訳				
			国県支出金	その他	一般財源	うち 引上げ分の 地方消費税 交付金	
社会福祉	民生費	児童福祉総務費	74,974	21,744	1,012	52,218	869
		保育所費	2,136,843	14,411	149,933	1,972,499	136,093
		児童保育費	12,942,397	8,194,062	481,232	4,267,103	905,734
		子育て総合センター費	105,877	25,179	1,556	79,142	6,337
		児童育成費	2,003,833	623,737	360,575	1,019,521	218,732
		障害援護費	12,950,885	9,622,322	877	3,327,686	927,240
		生活保護扶助費	13,614,969	10,325,158	181,634	3,108,177	884,911
	教育費	幼稚園費	42,114	6,500	353	35,261	2,584
	小計	43,871,892	28,833,113	1,177,172	13,861,607	3,082,500	
社会保険	民生費	国民健康保険事業費	4,788,263	1,958,017	0	2,830,246	602,589
		介護保険事業費	5,443,790	317,534	0	5,126,256	1,255,058
		後期高齢者医療事業費	1,441,819	783,579	0	658,240	74,363
	小計	11,673,872	3,059,130	0	8,614,742	1,932,010	
保健衛生	民生費	医療福祉費	2,617,053	690,536	174,198	1,752,319	412,852
	衛生費	保健所費	178,029	86,999	0	91,030	23,024
		保健予防費	6,977,355	5,744,014	224,676	1,008,665	530,813
	小計	9,772,437	6,521,549	398,874	2,852,014	966,689	
合計		65,318,201	38,413,792	1,576,046	25,328,363	5,981,199	

10. 主な財政指標

(1) 経常収支比率

Point!

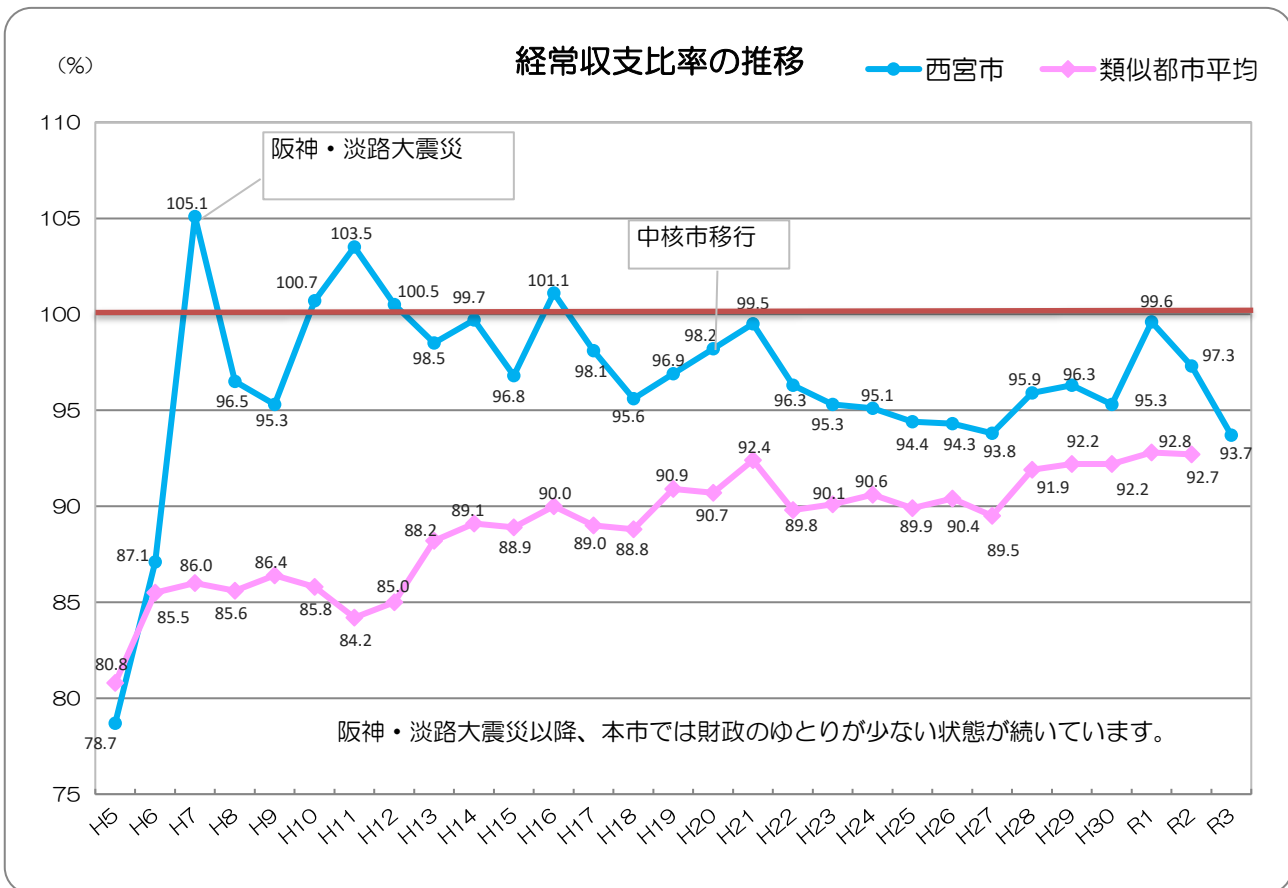
R3年度は93.7%で、前年度(97.3%)と比べて3.6ポイント改善しています。しかしながら、依然として類似都市平均より高い数値が続いています。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、市税収入等の経常一般財源が、どれだけ充当されたかを示す比率です。数値が低いほど財政にゆとりがあると言えます。

これを家計に例えると、給料に占める食費やローン返済などの使い道の決まった支払いの割合で、比率が低ければ、旅行などの自由に使えるお金が多くなり、家計にゆとりがあるというものです。この比率が100%を超えると、給料だけではそうした決まった支払いができず、貯金の取り崩しや借金などに頼らなければ家計が成り立たない状態になります。

西宮市では、R3年度は93.7%で、前年度と比べて3.6ポイント改善しています。これは歳出において扶助費や物件費などの経常的な経費に要する一般財源が増額となったものの、地方交付税の増などにより歳出の増以上に歳入が増額となったことなどによるものです。

類似都市と比較すると、歳出総額に占める義務的経費の割合が高くなっており、弾力性に欠けた財政構造になっています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

(2) 財政力指数

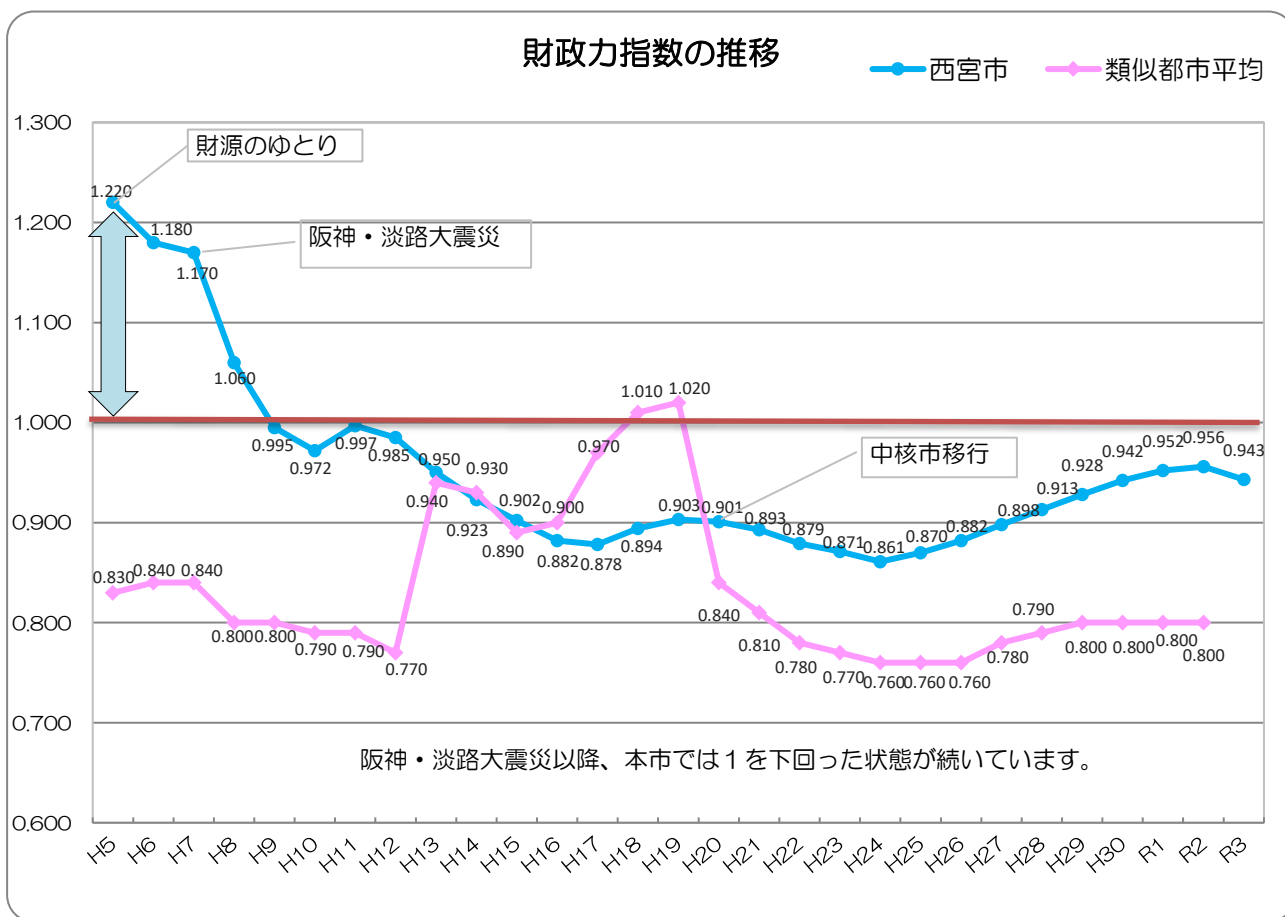
Point!

R3年度は0.943で、前年度(0.956)と比較すると0.013ポイント悪化しています。

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を同じ尺度で測るための指数で、普通交付税上の標準的な状態において徴収が見込まれる税収入(基準財政収入額)を標準的な行政を行った場合の財政需要(基準財政需要額)で除して得た数値の過去3年間の平均値をいいます。数値が大きいほど財政力が強いことを表しており、一般的に税収等が豊かで普通交付税の交付を受けない不交付団体は、この指数が1を超えることになり、財源にゆとりがあるということになります。

西宮市では、R3年度は0.943で、前年度と比較すると0.013ポイント悪化しています。

阪神・淡路大震災以降、数値が低下しましたが、類似都市と比較すると高い数値となっており、これは西宮市の財政基盤が比較的強いことを示しています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

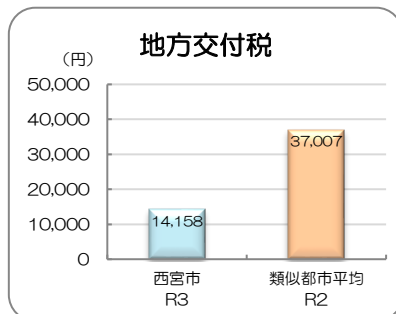
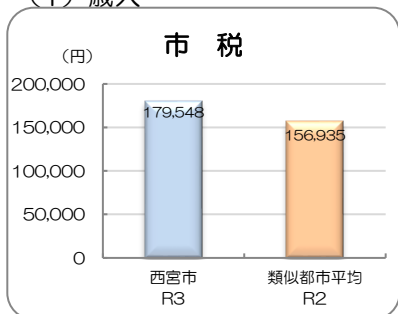
1 1. 市民一人あたりの決算額

類似都市との比較を行う為、普通会計の数値を用いています。

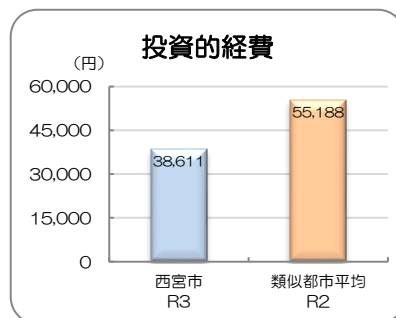
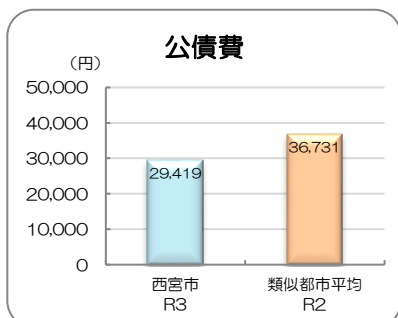
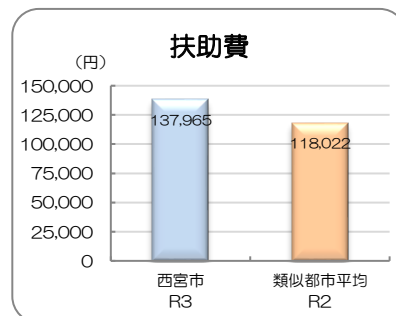
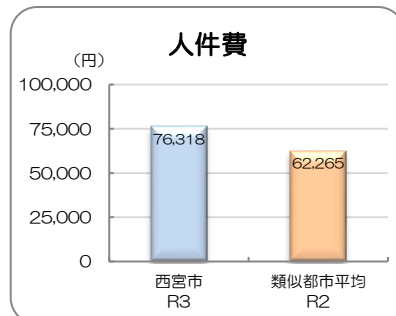
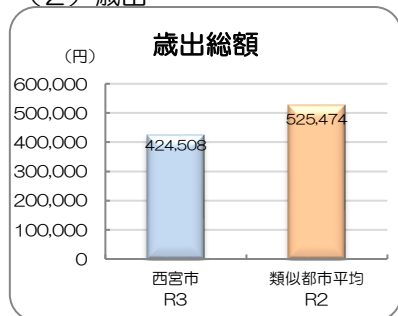
類似都市平均はR2年度財政状況類似団体比較カードのデータに基づいています。

西宮市（R3）の数値は住民基本台帳に基づく人口482,204人（R4年3月31日現在）より算定しています。

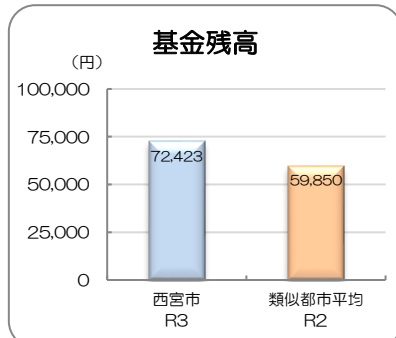
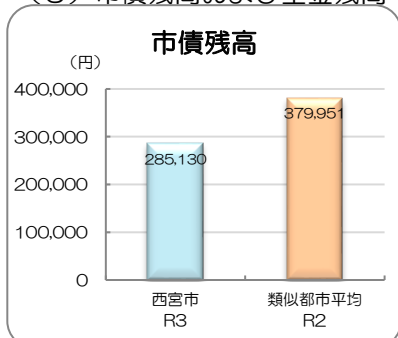
(1) 歳入



(2) 歳出



(3) 市債残高および基金残高



～用語解説～

普通会計・・・地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なり、団体間の財政比較が難しいため、地方財政の統計上、統一的に用いられる会計区分のことです。西宮市では、一般会計のほか中小企業勤労者福祉共済事業、公共用地買収事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業の各特別会計を含み、会計間の重複額等を控除して一つの会計にまとめたものです。